

SDMコンソーシアム 第3回ミーティング in 志摩



2016年7月9日、10日

会場： 檜扇荘 三重県志摩市阿児町鵜方943

参加者

紀ノ定（岐阜大学）、近藤（鳥取大学）、木村（愛媛大学）、島井（徳島大学）、川中（三重大学）、飯田（名古屋市大）、井上（EMU）、久島（沖縄県立中部病院）、島川（広島赤十字・原爆病院）、北岡、長谷部（医用工学研究所）、高月、清和（トゥモローネット）、田中（富士通）、鈴木（MoDeL）

プログラム1

SDMコンソーシアム第三期に向けて（岐阜大学 紀ノ定 保臣）

プログラム2 状況報告1

2-1 大学病院における診療支援DWH構想と標準DWH（SDM）の位置づけ（医用工学 長谷部 亨）

2-2 SSDB（診療支援データベース）のSDM化に関して（沖縄県立中部病院 久島 昌弘）

2-3 パブリッククラウドとSDMを利用した医療情報の2次利用環境の構築（トゥモロー・ネット 高月 常光）

2-4 計算機による意味の取り扱い（EWU Atsushi Inoue）

プログラム3 学会、社会への発信に関するディスカッション（愛媛大学 木村 映善）

SDMの社会における役割、意義、ビジネスにおけるメリット、学術的な課題、他の標準化との違い

プログラム4 状況報告2

4-1 レプリカDWH構想とSDMによる標準化の取り組みから見た課題の考察（広島赤十字・原爆病院 島川龍載）

4-2 標準化(コード)に関する問題点（鳥取大学 近藤 博史）

4-3 XMLを利用した医療情報ネットワークと診療支援（名古屋市大 飯田 征昌）

4-4 SDMを利用したVNA（Vendor Neutral Archive）データとしてのEMR整備への期待（徳島大学 島井 健一郎）

プログラム5 フリーディスカッション